

ROSE

文化情報誌
ロゼ

2018 AUTUMN Vol.105

ROSÉ THEATRE
ART INFORMATION
OF FUJICITY
CULTURE MAGAZINE
ROSÉ



カルタハカタル

潤井川かるたの小径から

INTERVIEW

加藤 登紀子

特集 劇団四季の魅力

EVENT CALENDAR 2018

特集 ロゼ・クラシックカフェ

Report シエナ・ウインド・オーケストラと事業提携

芸術委員リレーエッセイ

Flash Back

INFORMATION FROM ROSÉ THEATRE

ROSEロゼ

文化情報誌 ロゼ 2018年 9月発行 (第105・秋号)
発行/公益財団法人富士市文化振興財団 〒416-0953 富士市藤原町1750 番地 TEL.(0545) 60-2510
企画・編集・製作/公益財団法人富士市文化振興財団 株式会社アトシニア



シンガーソングライター

かとうときこ

加藤 登紀子

2019年2月開催の「ロゼフォークプラザ Vol.15」にご出演いただく加藤登紀子さんにお話を伺いました。



PROFILE

加藤 登紀子 (かとうときこ)

満州・ハルビン生まれ。1965年、東京大学在学中に第2回日本アマチュアシャンソンコンクールに優勝し歌手デビュー。1966年「赤い風船」で日本レコード大賞新人賞。「ひとり寝の子守唄」「知床旅情」「百万本のバラ」等多くのヒット曲と80枚以上のアルバムを発表。映画「居酒屋兆治」(1983)で女優デビュー、宮崎駿アニメ映画「紅の豚」(1992)での声優出演も話題となった。

Contents

- **カルタハカタル**
潤井川かるたの小径から 1
- INTERVIEW
加藤 登紀子 2
- 特集 劇団四季の魅力
SONG&DANCE 65 5
- EVENT CALENDAR 2018 7
- 特集 ロゼクラシックカフェ
素顔の大作作曲家たち 第22回
オペラ王ロッシーニの優雅なグルメ人生 9
- Report
シエナ・ウインドオーケストラと事業提携 11
- 芸術委員リレーエッセイ
ロゼシアター開館25周年に寄せて 12
- Flash Back 13
- INFORMATION FROM ROSÉ THEATRE
◆お知らせ
◆ふじ城のアートミュージアム
◆レストラン「ロゼテラス」
◆プレゼントクイズ
◆休館日のお知らせ
◆編集後記 14

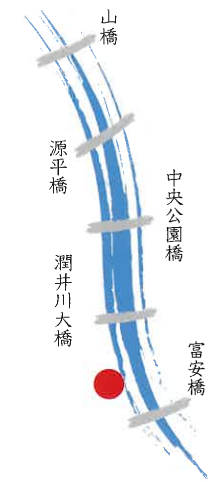


(歌) 私の袖は、引き潮の時さえ海底に沈み見えない沖の石のようだ。
他人は知らないだろうが、(涙に濡れて) 乾く間もない。

和歌や連歌を作る際、先人の詠んだ名歌から語句や構成などを取り入れて作歌することを「本歌取」といいます。優れた作品の骨格や趣向を背景とすることで、表現効果の重層化を狙うものです。本作は和泉式部の次の歌を本歌としてしています。

わが袖は 水の下なる石なれや
人に知られで かわく間もなし

和泉式部は、十世紀末から十一世紀にかけて活躍した歌人です。袖が(涙で)濡れている様子が、悲しい想いやせつない心情を表していることはいまでもありません。どちらも濡れた袖を乾くことのない水中に沈む石に喩え、その悲しさを強調しています。本歌である式部の作では、単に「水の下なる石」としたのに対して、讃岐は「潮干に見えぬ沖の石」と情景を与え、奥行きのある表現としました。「潮干に見えぬ」は、潮が引いても見えないほど深いという意味ですから、さらに詠者の思いの深さ、沈痛さを感じさせるようでもあります。この歌によって、沖の石の讃岐と称されるようになった作者。本歌取をよく表した一首です。



ロゼシアターの東を流れる潤井川。山橋から富安橋までの治堤は、「潤井川かるたの小径」と名づけられ、百人一首を彫り込んだ石版百枚が、道行く人々を楽しませてくれています。



二条院讃岐

(にじょういんのさぬき 1141頃-1217)

平安時代末期から鎌倉時代前期にかけて活躍した歌人。女房三十六歌仙の一人。父は源頼政。母は源齊範の娘。

わが袖は 潮干に見えぬ 沖の石の
人こそ知らぬ かわく間もなし 二条院讃岐

かるたは語る
カルタハカタル
潤井川かるたの小径から



言うとお風呂に入る瞬間みたいな(笑)。ステージに立つ前は喉が渴いたり緊張したりしますが、歌い始めちゃうと「はあっ」という温泉に浸かっている時みたいな、何か嬉しくて気持ちが良くて堪らない、そういう感じですね。だからみんなまで気持ちよくろうってそんな感じがありますね。

「加藤登紀子と素敵な仲間」というタイトルでお届けしますが、宮沢さんとのエピソードを教えてください。

鳥唄が大ヒットし始めた頃にカバーさせてもらったのが縁で、その時彼が二十七歳で私がちょうど五十歳で、世代の違いは感じていたんですけど、似ているなど思っていることがあったんです。それは、「すごく歌探しをする事」なんです。彼はほとんどとロックでしたけど、沖繩にすごくのめりこんだり、南米に凝ったり。私自身も歌探しをするので、そういう同じ血を感じて、同じ仲間だということを感じましたね。でも、解りやすい人でありながら何が飛び出してくるか解らないミステリアスな魅力も感じました。それから後は何度も一緒に最近では深いお友達になりました。すごくいいパートナーだと思って今回真っ先に宮沢さんに声を掛けさせていただきました。

過去には、大学教授や環境の親善大使、作家など様々な活動をされていますが、今もつと力を入れているものは？

やはり歌手活動ですね。大学で教えていたのも懐かしい思い出ですね。国連環境計画の親善大使だったのは二〇一一年までの十年間だったんですけど、その時に全世界を旅させてもらって、色々な国の人達との出会いも全て私の歌に繋がってきているような感じがしますね。本を書くことも、陶芸をやることも、全ての活動が歌に集約されています。



富士山がお好きだと伺いましたが？

「富士山だ」という歌を歌っていますし、富士山のゴミを拾って綺麗にする富士山クラブの人たちと友達になってその会員にもなりました。富士山が大好きすぎて伊豆に別荘も買いました。それと、富士山の皆さんにちょっと自慢したいのは、富士山頂で歌ったことがあるんです。歌手になってすぐの頃に「富士山頂放送二十四時間」みたいなラジオ番組があって。夜に宿に泊まって、出演者はブルドーザーで頂上まで上がるんですが、頂上に着いたらほとんどのスタッフが高山病で倒れて、立ち上がると気持ちが悪くなって

歌手を目指したきっかけを教えてください。最初は全く歌手になるつもりはなくて、家族は音楽が好きだったのに、私だけ小さい頃からピアノも習わずに、頑固に音楽の道には行かないという決心のもとにいたんです。けれど、ある日突然に父がシャンソンコンクールに申し込んだんです。これはもう晴天の霹靂で、何の助走もなくコンクールを受けることになったんです。そこから先生の先生に教わって、フランス語も全然だったので日仏学院に行って勉強して。歌手になるつもりもなかったのに、「三カ月間だけの特訓でコンクールに優勝できるように教えてください」と偉そうなこと言って、先生がビックリして笑っていました。結局コンクールはフランス語でエディット・ピアフを歌ったんですけど、四位という微妙な結果で、引くに引けないし、来年こそは頑張りなさいみたいな感じだったので、そこから一年間みっちり歌にはまりました。そうしたら、すごく楽しくなってきた。優勝してもしなくても歌手になろうという決心をしました。

そこから現在までの歌手活動はいかがでしょうか？

シャンソンというのはいくらでもレパトリーがあるし、一年間レッスンに行っているうちに沢山の良い歌に出会っていたので、なんとかなるかなと思っていたんです。でも、幸いにも新人賞を頂いたので、急に一人でコンサートをやる仕事も入ってきました。その一回分のコンサートをするのに、シャンソンだけじゃなく歌謡曲もないとダメということで、レパトリーがなく結構苦勞しましたね。シャンソンコンクールがきっかけで歌手になったのに、シャンソンじゃ仕事にならないっていうことがビックリでした。実際キャバレーでの仕事の時に、何で外国の歌ばかり歌うんだってヤジが飛んで、童謡を歌えって言われて、泣く泣く童謡をアカペラで歌ったんです。そしたら

しまうらしくて横たわった状態でキューを出しているんです(笑)。でも私は全然大丈夫で、生放送でギターの弾き語りでも歌いました。すごく楽しかったのもう一度やりたいわって一生懸命言ってるけど、ラジオ局も一回で諦めたらしくて話がないですね。それと、自分の足で富士山に登ったことがないので登ってみたいんだけれど、登れる期間が短いのと、ラッシュアワーぐらいの人出らしいのでちょっと考えちゃってます。

最後に、本誌読者及びコンサートを心待ちにしている皆様にもメッセージをお願いします。

シンガーソングライターとしての、とつても良い企画に声を掛けていただけて嬉しく思っています。宮沢さんのファンの方々、辛島さんのファンの方々、私が歌い始めた頃のことはご存じない方がいらっしやると思うんですけど、そういう意味でまた新しい世代が交じった素敵なコンサートになると思いますので、お互いの風が絡んでくるステージをお楽しみいただければと思います。それと、「富士山だ」は是非フィナーレでみんなが歌いたいんです。この歌はヒットソングになるはずの歌だと信じてるんです。でも土地の人がこの歌は自分たちの歌だと思ってもらわないとヒットしても意味がないしヒットにはならないと思うので、是非静岡の人に。それも山梨出身の宮沢さんと一緒にやりますから。静岡と山梨の両方の人達がこの「富士山だ」という歌を愛して下さるといいなと思います。



今まで全然歌を聞いてくれなかつた酔い達がみんな涙を流して聞いてくれて。私は、ほとんど音楽的な勉強もせず歌手になったので、実際の日の前で歌を聞いてもらいながら得た事が大きいですね。ギターも家でいくら練習してもダメで、下手なのに人前で歌いながら覚えてきたっていう感じですね。今はデビューして五十三年が経ってレパトリーは六〇〇曲くらいあるので、そういう意味ではすごく幸せです。

コンサートを行うときに一番大切に思っていることは何ですか？

私の歌を聞いてくれている人たちの気持ちとか、いわゆる空気ですね。その瞬間に感じることに向かって、ちゃんと向き合ってるって答えていきたいと思っています。最初はコンサートがなかなか上手にできなかったんですが、今はもうステージに立った瞬間が、例えて

公演情報

ロゼフォークプラザ Vol.15 加藤登紀子と素敵な仲間

出演：加藤登紀子、宮沢和史、辛島美登里



演奏曲目：<加藤登紀子>百万本のバラ、愛の讃歌 他
<宮沢 和史>鳥唄、風になりたい 他
<辛島美登里>サイレント・イヴ、愛すること 他

2019年2月24日(日) 大ホール 開場/17:00 開演/17:30

入場料(全席指定・税込) 均一:6,500円 ※未就学児入場不可

チケット発売日

web/9月27日(木)10:00~ 窓口/9月28日(金)10:00~

劇団四季の魅力

SONG&DANCE 65



今年2018年に創立65周年を迎える劇団四季。その記念公演の一つとして誕生したシリーズ最新作がロゼシアターに登場します。本シリーズは、数ある四季のレパートリーの中でも、とりわけ人気の高いショウ形式のステージです。ミュージカルの名曲の数々を四季独自のアレンジで再構築。これまでも「ミュージカルでもない。ドラマでもない。まったく新しいエンターテインメント」と高く評されてきました。構成・演出・振付を担うのは、これまでも「ソング&ダンス」シリーズを手掛けてきた加藤敬二。また今回新たに、劇団内から選出されたメンバーも振付担当として参加します。斬新なアイデアで磨かれたナンバーは、観客に驚きと感動を与えることでしょう。シリーズ最新作のコンセプトは「劇団四季の誕生から未来」、「祈り」や「願い」。四季のこれまでの歩みと、これからの道を、選り抜かれた珠玉のナンバーに乗せて描きます。劇団四季65年の足跡と未来への道を描く感動と興奮のステージ、どうぞご期待ください!

撮影/荒井健

「SONG&DANCE 65」ミュージカルナンバー ACT 1

- M1. サムホエア「ウェストサイド物語」
作詞/スティーヴン・ソンドハイム 作曲/レナード・バーンスタイン
日本語歌詞/岩谷時子
- M2. ヴァリエーション23「ソング・アンド・ダンス」
原曲/ニコロ・パガニーニ 編曲/アンドリュー・ロイド＝ウェバー
振付/永野亮比己
- M3. 精たちの登場「青い鳥」
作詞/岩谷時子 作曲/鈴木邦彦 編曲/宮崎誠
- M4. 愛した日々には悔いはない「コーラスライン」
作曲/マーヴィン・ハムリッシュ 編曲/宮崎誠
- M5. グリーン・ゲイブルズのアン「赤毛のアン」
作曲/ノーマン・キャンベル
- M6. 彼はお前のなかに生きている「ライオンキング」
作詞・作曲/マーク・マンチナ、ジェイ・リフキン、レボ・M
日本語歌詞/浅利慶太 振付/松島勇気
- M7. 何かがやってくる「ウェストサイド物語」
作詞/スティーヴン・ソンドハイム 作曲/レナード・バーンスタイン
日本語歌詞/岩谷時子
- M8. アメリカ「ウェストサイド物語」
作詞/スティーヴン・ソンドハイム 作曲/レナード・バーンスタイン
日本語歌詞/岩谷時子
- M9. パリのアメリカ人「パリのアメリカ人」
作曲/ジョージ・ガーシュウィン 編曲/中川幸太郎 振付/松島勇気
- M10. パリ野郎
作曲/レオ・フェレ 日本語歌詞/岩谷時子
編曲/横内章次 振付/松島勇気
- M11. 口笛パレエ「壁抜け男」
音楽/ミシェル・ルグラン
- M12. イザベルのソロ「壁抜け男」
作詞/ディディエ・ヴァン・コーヴェレール
音楽/ミシェル・ルグラン
日本語歌詞/荻野アンナ 振付/松島勇気

- M13. 恋するデュティユル「壁抜け男」
作詞/ディディエ・ヴァン・コーヴェレール 音楽/ミシェル・ルグラン
日本語歌詞/荻野アンナ 振付/松島勇気
- M14. ラブ・チェンジズ・エブリシング「アスペクト オブ ラブ」
作詞/ドン・ブラック、チャールズ・ハート
作曲/アンドリュー・ロイド＝ウェバー 日本語歌詞/浅利慶太
- M15. 自由を求めて「ウィキッド」
作詞・作曲/スティーヴン・シュワルツ 日本語歌詞/劇団四季文芸部
フラメンコ
- M16. カホン編曲/容昌一 作曲/ようすけ
- M17. オーヴァーチュア「アンデルセン」
作曲/フランク・レッサー マリンバ・シロフォン 編曲/平松浩一郎
- M18. 僕はハンス・クリスチャン・アンデルセン「アンデルセン」
作詞・作曲/フランク・レッサー 日本語歌詞/岩谷時子 振付/松島勇気
- M19. みにくいアヒルの子「アンデルセン」
作詞・作曲/フランク・レッサー 日本語歌詞/岩谷時子 振付/松島勇気
- M20. 海の上の世界「リトルマーメイド」
作詞/グレン・スレイター 作曲/アラン・メンケン 日本語歌詞/藤川和彦
- M21. 深海の秘密「リトルマーメイド」
作詞/ハワード・アッシュマン 作曲/アラン・メンケン
日本語歌詞/藤川和彦
- M22. パート・オブ・ユア・ワールド(リプライズ)
「リトルマーメイド」
作詞/ハワード・アッシュマン 作曲/アラン・メンケン
日本語歌詞/藤川和彦 編曲/宮崎誠
- M23. クレイジー・フォー・ユー メドレー
「クレイジー・フォー・ユー」
(I Got Rhythm/Girls Enter Nevada/I Can't Be Bothered Now/
What Causes That?/Naughty Baby/Stiff Upper Lip)
作詞・作曲/ジョージ・ガーシュウィン、アイラ・ガーシュウィン
CRAZY FOR YOU Music and Lyrics
by George Gershwin and Ira Gershwin
日本語歌詞/和田 誠
日本語歌詞(Girls Enter Nevada)/高橋由美子 振付/松島勇気

「SONG&DANCE 65」ミュージカルナンバー ACT 2

- M1. 星に願いを「ピノキオ」
作曲/レイ・ハーライン 編曲/中川幸太郎
- M2. 理想の相棒—フレンド ライク ミー「アラジン」
作詞/ハワード・アッシュマン 作曲/アラン・メンケン
日本語歌詞/高橋知伽江 振付/脇坂真人
- M3. 行こうよ どこまでも「アラジン」
作詞/チャド・ベグリン 作曲/アラン・メンケン
日本語歌詞/高橋知伽江 振付/脇坂真人
- M4. リフレクション「ムーラン」
作詞/デイヴィッド・ジッベル 作曲/マシュー・ワイルダー
日本語歌詞/松澤 薫 編曲/宮崎誠 振付/脇坂真人
- M5. 誰にでも夢はある「塔の上のラプンツェル」
作詞/グレン・スレイター 作曲/アラン・メンケン
日本語歌詞/高橋知伽江 編曲/宮崎誠 振付/脇坂真人
- M6. 変わりものベル「美女と野獣」
作詞/ハワード・アッシュマン 作曲/アラン・メンケン
日本語歌詞/浅利慶太 振付/脇坂真人
- M7. オーリム(いつか)/ノートルダムの鐘「ノートルダムの鐘」
作詞/スティーヴン・シュワルツ 作曲/アラン・メンケン
日本語歌詞/高橋知伽江
- M8. 陽ざしの中へ「ノートルダムの鐘」
作詞/スティーヴン・シュワルツ 作曲/アラン・メンケン
日本語歌詞/高橋知伽江
- M9. いつか「ノートルダムの鐘」
作詞/スティーヴン・シュワルツ 作曲/アラン・メンケン
日本語歌詞/高橋知伽江

- M10. レクイエム/こいつはサーカス「エビータ」
作詞/ティム・ライス 作曲/アンドリュー・ロイド＝ウェバー
日本語歌詞/浅利慶太
振付(こいつはサーカス)/脇坂真人
- M11. 星降る今宵に「エビータ」
作詞/ティム・ライス 作曲/アンドリュー・ロイド＝ウェバー
日本語歌詞/浅利慶太 編曲/三宅一徳
- M12. エビータとチュのワルツ「エビータ」
作詞/ティム・ライス 作曲/アンドリュー・ロイド＝ウェバー
編曲/宮崎誠
- M13. キャッツ メドレー「キャッツ」
(ジェリクルソング/メモリー/マンゴゼリーとランベルティエーザ〜小泥棒/
マキャヴィティ〜犯罪王/ミストフェリーズ〜マジック猫)
詞/T.S.エリオット 作曲/アンドリュー・ロイド＝ウェバー
追補詞(メモリー)/トレバー・ナン 日本語歌詞/浅利慶太
編曲(ジェリクルソング)/三宅一徳
編曲(マンゴゼリーとランベルティエーザ〜小泥棒/
マキャヴィティ〜犯罪王)/宮崎誠
振付(マキャヴィティ〜犯罪王)/永野亮比己
- M14. オペラ座の怪人「オペラ座の怪人」
作詞/チャールズ・ハート 作曲/アンドリュー・ロイド＝ウェバー
日本語歌詞/浅利慶太
- M15. サークル・オブ・ライフ「ライオンキング」
作詞/ティム・ライス 作曲/エルトン・ジョン
コーラスアレンジ/レボ・M、ハンス・ジマー 日本語歌詞/浅利慶太

※ナンバーは変更となる可能性があります。予めご了承ください。

公演情報

劇団四季

「SONG&DANCE 65」

2018.12.12(水) 大ホール
開場/18:00 開演/18:30

入場料(全席指定・税込)

S席/8,640円 A席/6,480円 B席/3,240円

※3歳以上有料。2歳以下のお子様は入場不可。

チケット発売日

Web/9月29日(土) 10:00~ 窓口/9月30日(日) 10:00~

- ◆ロゼシアターホームページ <http://rose-theatre.jp>
- ◆ロゼシアター窓口(営業時間9:00~20:00)
- ◆ロゼシアターモバイルサイト
- ◆ローソンチケット0570-084-004(Lコード/42823)
- ◆劇団四季予約センター 電話0120-489444(10:00~18:00)
- ◆SHIKI ON-LINE TICKET <http://489444.com>

2014年12月初演

●第8弾 劇団四季 FESTIVAL! 扉の向こうへ
年末年始の特別企画として発表。劇団四季の現在と未来をコンセプトに、同シリーズの系譜を継ぎながらも、「旧年を振り返り、ニューイヤールを寿ぐ」という、この時期ならではのショーとなった。

2013年10月初演

●第7弾 ようこそ劇場へ〜東京・四季劇場へ〜
「感謝の花束」とともに創立60周年記念公演として発表。観客と歩んできた60年の感謝を込め、劇団の原点ともいえるファミリー作品や故・加藤道夫氏の作品等を取り入れた意欲作。公演毎に構成を変える大胆な演出も話題を呼んだ。

2013年8月初演

●第6弾 感謝の花束〜全国64都市
創立60周年記念企画として発表。全国64都市を巡演し、その後は3カ月の東京・自由劇場公演を果たす。「60年間、四季を支えて下さった全ての方へ、感謝の花束を」という願いから誕生。

2011年初演

●第5弾 The Spirit〜東京・四季劇場(秋)〜
ディズニーマ、ロイド・ウェバー作品のミュージカルナンバーに加え、四季オリジナル作に素晴らしいメロディを与えた故・三木たかしの歌謡曲を採用。シリーズに新たな魅力を添えた。

2008年初演

●第4弾 55ステップス〜東京・四季劇場(秋)〜
創立55周年記念企画として発表。それまでに四季が巡り合ってきた数多くの「作品」「才能」「そして「観客」へ感謝の想いをこめたセレブレーション・イベントとなった「ミュージカルの宝石箱」の名にふさわしく、各ジャンルより多彩な楽曲を採用。東京、大阪、名古屋、全国公演で上演。

2004年初演

●第3弾 RUN TO THE FUTURE〜東京・四季劇場(秋)〜
創立50周年記念企画として発表された第3弾。タイトルには、四季の半世紀に及ぶ歩みと想いを糧に、常に挑戦の意志を持って、全力を尽くすという意味がある。和太鼓合奏、手話「ボテ」を用いたダンスなど、新しい試みも採用され、斬新なステージを創作した。

2000年初演

●第2弾 オーヴァーザセンチュリー〜東京・四季劇場(秋)〜
ジャズやディズニーマ映画、四季に馴染みのない作品のナンバーで構成された人生と夢を描いた新たな音楽分野との融合は大きく評価されている。この作品より加藤敬二が構成・振付・演出全てを担当クリエイターとしての才能を如何なく発揮した。東京、名古屋、福岡、全国公演で上演。

1999年初演

●第1弾 ミュージカルの花束〜東京・四季劇場(秋)〜
創立45周年記念企画として誕生した第1作。代表的な四季のミュージカルナンバーの普遍的な魅力を浮き上がらせ、「ミュージカルでもないドラマでもない」、まったく新しいエンターテインメントと評価を得る。東京、大阪、名古屋、福岡、札幌、全国公演で上演。

「SONG&DANCE」シリーズ 喝采の歴史

EVENT CALENDAR 2018

12 DECEMBER

12/18 火曜日

ロゼシアター開館25周年記念 バーンスタイン生誕100年記念 佐渡裕指揮 シエナ・ウインド・オーケストラ演奏会2018

大ホール
開場/18:30 開演/19:00
入場料(全席指定・税込)
S席/7,500円 A席/6,500円 学生/3,000円
※未就学児入場不可

【プログラム】

- ♪J.S.バッハ/池田明子編:
無伴奏ヴァイオリン・パルティータ 第2番
二短調 BWV1004よりシャコンヌ
- ♪バーンスタイン/C. グランドマン編:
ディヴェルティメント
- ♪音楽のおもちゃ箱
～クリスマス・スペシャル!
- ♪バーンスタイン/岩井直博編:
ウエスト・サイド・ストーリーより
「シンフォニック・ダンス」

※曲目は変更になる場合があります。
予めご了承ください。

■チケット発売中
【口】42836

※公開リハーサルを行います。詳細は公演の約1か月前にお知らせしますのでお問い合わせください。
※アンコールはシエナ恒例の「星条旗よ永遠なれ」で、お客様もシエナメンバーと一緒にステージで演奏に参加していただくことができます。当日楽器を持ってお出かけください。詳細はHPをご確認ください。



©Takashi Iijima



©Hikaru.☆

12/20 木曜日

チケット発売日 ふじ寄席 柳家花緑・立川志らく・春風亭一之輔 三人会

web
公演日/2019年3月14日(木)
中ホール
開場/18:00 開演/18:30
入場料(全席指定・税込)
1階席/4,000円 2階席/3,500円
学生/1,000円 ※未就学児入場不可
【口】41409



12/21 金曜日

ロゼシアター主催公演のチケット購入方法

ロゼシアター主催公演のチケットをご購入・ご予約の際は、ロゼシアターのホームページや、窓口から登録いただけます。(登録無料、有効期間1年)

※詳しくはロゼシアターホームページをご覧ください。ご購入後の取り消し・変更はできません。ご購入確定前必ず(再度)内容についてご確認ください。

お問い合わせ先 TEL.0545-60-2500 ※お問合わせは9時～22時となります。

インターネットで
購入(24時間対応)
ロゼシアターのホームページからご購入いただけます。
ホームページ http://rose-theatre.jp
モバイルサイト http://rose-theatre.jp/mobile/top_mo.htm
ホームページからのご購入は、お座席選択が可能な公演があります。

ロゼシアターで
直接購入
【チケット取扱時間: 休館日以外の9:00～20:00】
会館1階エレベーター横の会館事務所に、現金でご購入。
※発売初日は10:00～20:00

プレイガイドで
購入
ローソンチケット
(各公演指定のLコードが必要です。)
TEL.0570-084-004

12 DECEMBER

12/2 日曜日

ロゼシアター開館25周年記念 新進アーティスト 歴代選出者作品展 2018

展示室
期間/12月2日(日)～12月9日(日)
開場/10:00～18:00 ※最終日/17:00終了
入場無料
静岡県内の18歳から35歳を対象とした美術公募展の
歴代選出者による作品展です。



前回展示の様子

12/7 金曜日

童謡誕生100年記念コンサート 出演:富士市青少年少女合唱団、 若柳吉智乃社中、フジリステン

小ホール
開場/18:30 開演/19:00
入場料(全席自由・税込) 均一/500円
※4歳以上入場可
■チケット発売日/Web&窓口/9月26日(水)

12/12 水曜日

劇団四季 『SONG&DANCE 65』

大ホール
開場/18:00 開演/18:30
入場料(全席指定・税込)
S席/8,640円 A席/6,480円 B席/3,240円
※3歳以上有料(2歳以下は入場不可)
■チケット発売日/Web/9月29日(土)
窓口/9月30日(日)
【口】42823



撮影/荒井健

12/16 日曜日

ニューヨーク・ゴスペル・ブラザーズ

中ホール
開場/17:30 開演/18:00
入場料(全席指定・税込)
一般/4,000円 学生/1,000円
※3歳以上入場可。但し、チケットが必要です。
■チケット発売日/Web/10月4日(木)
窓口/10月5日(金)



【口】42837

ゴスペルワークショップ開催!

本公演にあわせてゴスペルワークショップを開催します。
3回のワークショップを経て、ロゼの舞台上でメンバーと
共演していただけます。未経験者も大歓迎です!!

募集応募期間/9月6日(木)～11月4日(日)
参加費/一般/5,500円 学生/2,500円(入場料含む)

講師/ETSUKO(静岡市在住)
日時/①12月 1日(土) 18:00～21:00
②12月 8日(土) 18:00～21:00
③12月16日(日) 13:30～16:30(公演当日)

共演予定曲目/ジョイ
オー・ハッピー・デイ
ジーザス・イズ・マイ
※公演中の出入りがあるため座席はこちらで指定させていただきます。

10 OCTOBER

10/16 火曜日

ロゼシアター 市民ミュージカル写真パネル展

1階ガレリア
期間/10月16日(火)～10月28日(日)
入場無料
平成10年の「新・曾我物語～名残りの小袖」から昨年の「THE
MUSICAL TIME 2017」まで、ロゼシアター市民ミュージカルの
歴史を約120点の写真パネルでご紹介します。



10/27 土曜日

ロゼシアター開館25周年記念 ミュージカル『I Live Here』

演出・振付・脚色:三浦克也
中ホール
公演日/10月27日(土) 1回目/開演15:00
2回目/開演19:00
28日(日) 1回目/開演11:00
2回目/開演15:00
入場料(全席自由・税込) 均一/1,500円
※未就学児入場不可



〈ものがたり〉
時は現代。スターになるという夢を追い続ける5人の女性。
年齢も性格も違う5人ではあるが、いつも行動を共にし、楽しく日々を過ごしている。
…ある日、想像を絶する事件が起こる!
果たして5人の運命はどうなるのか…!!
愛と友情をテーマにお届けする、時空を超えた感動のミュージカル。
■チケット発売中

11 NOVEMBER

11/4 日曜日

シエナ・ウインド・オーケストラ アンサンブル ワークショップ

シエナ・ウインド・オーケストラの団員が直接アドバイスを、中学生・高校生の吹奏楽部員対象の
ワークショップ。アンサンブルならではの視線の使い方や間の取り方など、コンクールに向けてスキル
アップ!!

リハーサル室ほか
1回目/ 9:30～11:30
2回目/12:30～14:30
3回目/15:00～17:00
募集受付期間/8月1日(水)～9月30日(日)
参加費/1人 2,000円
当日、聴講受付します。
(状況により人数制限をさせていただく場合がありますので
ご了承ください。未就学児入場不可)
※詳細はロゼシアターホームページをご覧ください。



後援:富士市、富士市教育委員会、静岡県高等学校吹奏楽連盟東部支部、
静岡県中学校吹奏楽連盟東部支部

11/15 木曜日

チケット発売日 青島広志の楽しくクラシック7

Web&窓口
レクチャー:青島広志
監修:辻村典枝 出演:フジリステン
公演日/2019年2月13日(水)
小ホール
開場/18:30 開演/19:00
入場料(全席指定・税込)
均一/2,500円 ※未就学児入場不可
【口】41395



©Gakken Pub



素顔の大作曲家たち

第22回 オペラ王ロッシーニの優雅なグルメ人生

猛暑の夏がようやく去ると、いよいよ食欲の秋がやってきます。ということで、今回は、オペラ作曲家として誰もが羨む大成をおさめながら、食をこよなく愛し、さつさと作曲家を引退してひたすらグルメの世界に生きた、ひとりの大作曲家の物語です。



(写真:1) ロッシーニの肖像

あのベートーヴェンも嫉妬した？ ロッシーニ・ファイバーの熱狂

その名は、イタリアの作曲家ロッシーニ(写真:1)。ロッシーニといえば、生涯に三十九曲のオペラを作曲したイタリア・オペラ界の大作曲家ですが、生前からその人気は凄まじく、「ロッシーニ・ファイバー」と呼ばれたほどでした。晩年のベートーヴェンが「いまや、ウイーンでは私の音楽など誰も聴こうとしない。世の中はロッシーニ一色だ」と嘆いたほど、イタリアはもちろん、パリ、ウイーン、ベルリンなど、ヨーロッパ中にロッシーニ旋風が吹き荒れました。かの文豪スタンダールは、「ナポレオンは死んだが、別の男が現れた」と、その人気を評したほどでした。

オペラ作曲家でなければ、作曲家にあらず？

貴族から大衆まで、オペラは当時のありとあらゆる階層の人々が熱狂したエンターテインメントの花形でした。まだテレビもラジオもインターネットもなかった時代、オペラはそれらに加えて映画と演劇をすべてまぜこぜにしたような、総合エンターテインメントだったのです。作曲家はオペラを作曲してはじめて一人前と認められた時代。だからこそ、オペラ作曲が苦手だったベートーヴェンも、必死でオペラを作曲しようとしたのです。

作曲家をさつさと引退してレストラン経営？ グルメに生きた後半生

人も羨む絶大な人気を誇ったロッシーニでしたが、三十七歳で大作「ウィリアム・テル」を作曲した後はさつさと引退。後半生を、ひたすらグルメ道に生きます。そんな彼だけに、食のエピソードも満載。たとえば、パーティーやレストランの料理だけでは満足できず、帰り際にレストランの主人から「またいらしてくださいね」といわれると、食べ終わった直後にもかかわらず、「いまからでもいいですよ!」といったとか。いかにも大食漢の彼らしいエピソード(写真:2)ですね。



(写真:2) 大食漢のロッシーニ

ワグナーもあきれた？ 破天荒なグルメの巨匠

あるとき、ロッシーニを崇拜するワグナーが、彼を訪問したときのこと。話題が盛り上がるたびに、ロッシーニは「ちょっと失礼」といつ中座し、数分後に戻ってきた。「話はどこまで進んだの？」と聞き直すのでした。それが何度も繰り返されるので、さすがに面食らったワグナーは、「たびたび席を立たれるのはなぜですか?」と訊くと、「いやあ、失礼! 鹿の肉が火にかかっていて、絶えずタレをかけてやらねばならないのですよ!」と答えたのです。のちにワグナーは、なぜロッシーニほどのオペラの天才が、音楽を捨てて料理などに身を捧げたのか、自分にはとうてい理解できないと語ったそうです。

とびきり贅沢な ロッシーニ風ステーキ

「音楽もよろこび。食もよろこび。そのあいだには何の隙もない!」これが、ロッシーニのポリシーでした。そのグルメへの熱愛は、食べるだけではなく、おさまらず、ついには自作の料理まで考案します。そのひとつが、「牛フィレとフォワグラのロッシーニ風」



(写真:3) 牛フィレとフォワグラのロッシーニ風

ロッシーニ風(写真:3)。極上のフィレ肉の上に分厚いフォワグラが載った、いかにも体に悪そうな、でも飛び切りおいしい贅沢な一品です。

人生はシャンパンの泡のようなもの



(写真:4) 晩年のロッシーニ

これは、ロッシーニが七十三歳のときの写真(写真:4)です。オペラ作曲家としては三十代の若さで引退したものの、彼は作曲を完全に止めたわけではありません。「老いの過ち」という晩年に書かれた約二五〇曲の小曲集には、「やれやれ、小さなエンドウ豆よ!」「ロマンティックなひき肉料理」など、料理好きの彼らしいユーモアあふれるタイトルの曲が多数含まれています。「食べて、愛すること。歌って、消化すること。これら四つの行為こそ、人生という名の饗宴のオペラに真にふさわしい行為だ。そして人生というものは、シャンパンの泡のようにはかなく消えていく!」これは、晩年のロッシーニの言葉です。オペラに生き、食に生き、人生を謳歌した、いかにも巨匠らしい風格と軽妙なセンスにあふれた言葉ですね。

浦久俊彦

●プロフィール 浦久俊彦

文筆家、文化芸術プロデューサー。サラマンカホール音楽監督。パリで音楽学、歴史社会学、哲学を学び、フランスを拠点に音楽を中心に、文化芸術プロデューサーとして活躍。帰国後、三井住友海上しらかわホールのエグゼクティブ・ディレクターを経て独立し、浦久俊彦事務所、一般財団法人欧州日本芸術財団を設立。日本とヨーロッパの文化芸術交流に尽力するほか、代官山未来音楽塾塾頭として音楽を地域再生に活かす人材の育成にも力を注いでいる。著書に『フランツリストはなぜ女たちを失神させたのか』(新潮社)、『138億年の音楽史』(講談社)など。近著に『悪魔と呼ばれたヴァイオリニスト』(新潮社)がある。

主要参考文献
Dictionnaire Encyclopédique de la Musique, Univercité d'Oxford/Robert Laffont
『スタンダール ロッシーニ伝』スタンダール著 山辺正彦訳 みすず書房 1992
『ロッシーニ 仮面の男』マリオ・ニコラーオ著 小畑恒夫訳 音楽之友社 1992
『食べるクラシック』千葉真知子著 幻冬舎 2006

シエナ・ウインド・オーケストラと 事業提携

今年4月24日、『シエナ・ウインド・オーケストラとの事業提携に関する協定』の締結式が、富士市、シエナ及びロゼシアターの指定管理者である公益財団法人富士市文化振興財団の3者で行われました。一般の公演はもとより、中高生をはじめとする若年層を中心にプロの演奏家と交流する機会を提供し、地域の音楽文化のさらなる発展を目的に締結されました。



シエナ・ウインド・オーケストラとは

1990年に結成されたプロの吹奏楽団で、現在は佐渡裕氏を首席指揮者に擁し、青島広志氏や宮川彬良氏など多彩な指揮者を客演に迎えメディアへの出演も数多いなど、実力、知名度ともにトップクラスといえます。また、青少年育成事業や地域との事業提携にも積極的に取り組んでおり、日本を代表する吹奏楽団として、また国内吹奏楽愛好家の先頭に立つフラッグシップ・オーケストラとして高い人気を誇っています。



©Hikaru.☆

©Takashi Iijima

シエナ出演事業について

シエナは、富士市内の公立中学校の2年生全員を招待して毎年開催される「中学生招待コンサート」の演奏を平成28年から務めており、迫力ある演奏はもとより、生徒が参加するプログラムや工夫を凝らした企画で好評を博しています。また、今年2月には、中高生の吹奏楽部員を対象とした「ワークショップ」を開催し、直接受けるプロのアドバイスは心にも響き、貴重な体験ができたという声を多くいただきました。この「ワークショップ」は11月に第2回目を開催します。そして12月18日、ロゼシアターでは初共演となる佐渡裕指揮のもと、バーンスタインの名曲を披露する公演を開催します。公開リハーサルや、お客様もステージでメンバーと一緒に演奏に参加できる、シエナ恒例のアンコール『星条旗よ永遠なれ』も是非ご注目ください。



中学生招待
コンサート

ワークショップ

これからの事業展開

協定の締結によりシエナが身近になり、プロの演奏を鑑賞する機会やプロによる技術指導などを体験できる機会が確保しやすくなります。また、継続することにより、地元の要望を取り入れたプログラムによるコンサートや、演奏技術の段階的なレベルアップを図るワークショップなども可能となります。是非、多くの方に参加していただき、皆さまからのご意見を参考に、より地域に適した事業展開をしていきたいと思います。

シエナ・ウインド・オーケストラ アンサンブル ワークショップ

11月4日(日) ①9:30~11:30 ②12:30~14:30 ③15:00~17:00
対象：富士市近隣中学生および高校生の吹奏楽部員
募集期間：8月1日~9月30日

佐渡裕指揮

シエナ・ウインド・オーケストラ演奏会2018

12月18日(火) 大ホール 開場/18:30 開演/19:00
入場料(全席指定・税込)
S席/7,500円 A席/6,500円 学生(25歳まで)/3,000円
チケット好評発売中

詳細はロゼシアターホームページをご参照ください。

ロゼシアター開館25周年に寄せて

四半世紀の演劇界の変貌

ロゼシアターが開館して四半世紀を迎えた。開館した一九九三年の演劇界は、あらゆるジャンルで世代交代が進んでいた。歌舞伎界は年間公演が史上最高の五十一公演を記録した。しかし、長老の歌右衛門、梅幸、仁左衛門(十三世)、羽左衛門らは病気がちで、歌舞伎界の担い手は次の世代の雀右衛門、芝翫、鷹治郎(坂田藤十郎)、富士郎ら、さらに次の世代の猿之助(猿翁)、菊五郎、幸四郎(白鷗)、吉右衛門、團十郎、孝夫(仁左衛門)、玉三郎らに移り、勘九郎(十八世勘三郎)、八十助(十世三津五郎)らが花形として人気を集め始めていた。

大衆演劇では、森繁久彌、山田五十鈴が健在だったが、大劇場の主役は、森光子、佐久間良子、三田佳子、山本富士子、杉良太郎、高橋英樹、里見浩太朗ら次の世代のスターになっていた。また、北島三郎、五木ひろしをはじめとする演歌歌手が大劇場で長期公演をし、歌手公演が最盛期を迎えていた。現代演劇の分野では、九七年の国立劇場の開場を控えて様々な動きがあり、井上ひさし、清水邦夫、斎藤憐、山田太一、平田オリザらが新作を書き、演出家では、木村光一、蛭川幸雄らが

VOL.02

水落 潔

精力的な活動を続けていた。

ミュージカル公演が増え、東京地区の代表的な劇場で上演されたミュージカルは、九十一公演もあった。劇団四季は、全国で二十二の公演を展開し、大阪で上演した「キャッツ」は、二十五万人の観客を集め、札幌に仮設劇場を建て「オペラ座の怪人」のロングランを始めた。

東京では明治座が新築開場し、大小の国立劇場、歌舞伎座、新橋演舞場、帝劇、芸術座、東京宝塚劇場、新宿コマ、シアターアプル、サンシャイン劇場、三越劇場、パルコ劇場、前進座劇場、グローブ座、青山劇場、銀座セゾン劇場、ベニサンピット、名古屋では御園座、名鉄ホール、中日劇場、関西では新歌舞伎座、中座、飛天、近鉄劇場、宝塚大劇場が多様な演目を上演していた。

それから四半世紀。演劇地図は大きく変わった。スター俳優の顔ぶれが変わったのは当然のことである。しかし、人気が次の世代に受け継がれ、今も盛況を続けている分野と、後継者不足で衰退していった分野と明暗が分かれた。明は歌舞伎、劇団四季、暗は大衆演劇と呼ばれた分野である。歌舞伎界は、十八世勘三郎、十世三津

五郎の死という予期せぬ不幸があったものの、世代交代が順調に進み、新しいスターが次々に生まれてきた。劇団四季は、ますます発展し、十七年度は全国で公演回数三〇九七を記録した。暗は大衆演劇で、四半世紀前は大劇場の主柱だった女優劇が、スターの高齢化で無くなってしまい、歌手公演も演歌人気の低迷で激減していった。代わって台頭してきたのが、ジャーニーズ事務所

のタレントの公演である。劇場地図も大きく変わった。東京地区では、歌舞伎座と東京宝塚劇場が新劇場に生まれ変わり、宝塚劇場は、宝塚歌劇の専用劇場になった。一方で、芸術座はシアタークリエになり、女優劇路線からミュージカル路線へ、

帝劇も年間を通してミュージカルを上演している。新宿コマ、シアターアプル、銀座セゾン劇場、前進座劇場、青山劇場、ベニサンピットはいずれも閉館した。名古屋地区では今年、御園座が新築開場したが、中日劇場、名鉄ホールはなくなってしまった。

こうした演劇界の変貌は、ロゼシアターの公演にも反映している。歌舞伎と四季は、開館以来ずっと続いているが、大衆演劇の公演は減少してきた。

●プロフィール

水落 潔(みづおち きよし)

◆演劇評論家

1936年大阪生まれ。1960年早稲田大学第一文学部演劇科卒業、1961年毎日新聞社入社、1970年から学芸部演劇記者として同紙(東京)の劇評を担当、学芸部副部長、編集委員、特別委員を経て1996年退社、客員編集委員。2000年に桜美林大学教授に就任、2007年退職。名誉教授。日本演劇協会、都民劇場の各理事。セゾン文化財団評議員。富士市文化振興財団芸術委員。

◆著書

「文案」、「上方歌舞伎」(芸術選奨文部大臣新人賞受賞)、「歌舞伎鑑賞辞典」、「平成歌舞伎俳優論」、「演劇散歩」、「幸四郎の見果てぬ夢」など。



Information from ROSÉ THEATRE

ロゼシアターからのお知らせ

3階・4階フロアのトイレをリニューアル

3カ年の改修計画に基づき、館内トイレを和式から洋式に順次更新していきます。このたび3階・4階フロアの和式トイレ9か所がリニューアルされました。もちろん便座は温水洗浄タイプ、操作しやすいリモコンも好評です。また、足腰の弱い方でも使いやすいように個室には手すりを設置しました。



ふじ・紙のアートミュージアム

藤原志保展 ～平和の風～

2018.8/1(水)～10/14(日)



写真:藤原志保展

渡辺英司展

2018.11/1(木)～2019.2/17(日)

▶観覧料 無料

●開館時間 10:00～18:00
●休館日 月・火曜日(祝日は開館、水曜日に振替休館)
ロゼシアター休館日

お問い合わせ先 **0545-32-6581** <http://www.fuji-paperart.jp>

プレゼントクイズ

平成30年12月18日(火)開催予定の
【佐渡裕指揮シエナ・ウインド・オーケストラ演奏会2018】
この演奏会はある作曲家の生誕100年を記念して開催されますが、その作曲家の名前は?
【バーン〇〇〇〇】

プレゼント1
「佐渡裕指揮シエナ・ウインド・オーケストラ演奏会2018」
平成30年12月18日(火) 開演19:00
公演チケット 2組4名様

プレゼント2
レストラン「ROSE TERRACE」
御招待券 1組2名様分(4,000円相当)

【応募方法】官製はがき・私製はがきに、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、クイズの答え、希望するプレゼント名、本誌に対するご意見・ご感想をご記入のうえ、郵送にてお申し込みください。(平成30年11月28日消印有効)なお、当選者はプレゼントの発送をもって発表に代えさせていただきます。

<郵送先>〒416-0953 富士市琴原町1750番地
ロゼシアター「情報誌ロゼ第105号」プレゼント係
※応募はお一人様一通までとさせていただきます。
二通以上ご応募の場合は、全て無効とさせていただきます。

レストラン「ROSE TERRACE (ロゼテラス)」

世界文化遺産富士山を望みながら、落ち着いた雰囲気の内でお食事をお楽しみいただけます。静岡県産を中心とした素材選びから真剣にこだわった料理をお出して、皆様のご来店を心よりお待ちしております。

- ランチ 11:30～14:30
 - カフェタイム 14:30～17:00
 - ディナー 17:00～21:00(L.O. 20:30)
- ※予約等により、営業時間が前後する場合がございます。



◆逆さ富士御膳花 1,500円(税別)
鮮魚から煮物、焼き物、揚げ物などいろいろ入ったお助けランチです。
(香の物・味噌汁付)
7月から新メニュー登場いたしました。詳細につきましては、こちらをご覧ください。http://www.nasubi-ltd.co.jp/rose/

ご法要の席承ります!
3,000円より(税別)

- ・富士山の壮大な景色
- ・幹線道路沿いの立地でアクセス便利
- ・駐車場多数あり
- ・皆が認知するロゼシアター内
- ・バリアフリーで車椅子でも困りません(EV、スロープ完備)
- ・足腰楽々イス・テーブル席でのお食事

編集後記

年度が変わってからまだ5ヶ月かという感覚でいたら、あと4ヶ月程度で今年が終了という事実に改めて気付いて、1年の過ぎる早さを感じています。これからのロゼシアターは開館25周年記念事業が続々登場します。佐渡裕指揮シエナ・ウインド・オーケストラ演奏会、新進アーティスト歴代選出者作品展… 近いところだと、10月に市民ミュージカルが開催されます。ロゼシアターと共に成長してきたこの市民ミュージカル、今年の公演が待ち遠しいです。(K)

ロゼシアターホームページで情報を!! <http://rose-theatre.jp> ◆公演情報 ◆施設の空き状況 ◆交通情報など



フラッシュ

バック

Flash Back

平成30年5月 ▶ 平成30年7月

ロゼシアター主催事業をお客様のアンケートをもとにフラッシュバックしてみました。

ロゼ・クラシックカフェ・コンサートVol.3 ピアノの巨人たちの肖像「ショパンvs.リスト」

平成30年 5月25日(金) 小ホール

- トークも楽しく、息をするのを忘れるようなピアノでした。音の迫力に風が吹くような感覚で、良い意味でとても疲れました。
30歳代・女性
- 素晴らしい演奏に至福の時を過ごしました。トークも大変興味深く、音楽を一味も二味も掘り下げて聴くことができました。
70歳代・女性
- 普段聴くことのないメインディッシュを取り揃えたプログラムで、弾いている方も聴いている方も非常に歯ごたえのあるコンサートでした。
高校生・女子



ふじ少年少女芸術劇場 中学生招待コンサート

平成30年 6月12日(火) 大ホール

- 指揮者体験コーナーが大変ほほえましく楽しめました。「招待コンサート」をこれからも続けて、市内の学生に生の音楽を聴いてほしいと思います。
60歳代・女性
- 親しみやすい内容でとても楽しかった。シエナ・ウインド・オーケストラの一流の音に触られて、中学生がうらやましいです。
40歳代・女性
- 今年も期待を裏切らない素晴らしい演奏で感動しました。子ども達が少しでも音楽に興味をもってもらえたら嬉しいです。ありがとうございました。
40歳代・女性



ふじ少年少女芸術劇場 小学生招待コンサート

平成30年 6月27日(水) 大ホール

- とても楽しかった!子供たちのマナーも良く参加した子供たちもとても上手で一生懸命でうれしかったです。また来たいと思いました。
60歳代・女性
- オーケストラの中に入って演奏を聴いたり、指揮者の体験など子供たちにとって貴重な体験ができたのではないかと思います。うらやましい限りです。
50歳代・女性
- 6年生の教科書にのっていた楽器の紹介が生で聴けてとても勉強になります。やはり生の音はちがいますね。音楽が身近になり、好きな子が増えると思います。
40歳代・女性



社会科見学プログラム

平成30年 7月3日(火) 大ホール



東京シティ・フィルのドラゴンクエスト

平成30年 7月14日(土) 大ホール

- オーケストラは初めてでしたがとても楽しめました。時間も疲れも忘れてしまう公演でした。指揮者の方のトークもすごくおもしろかったです。
高校生・女子
- 自分が子どもの頃にCDで何度も聴いたドラクエの曲を我が子と生演奏で聴くことができ、本当に幸せでした。
40歳代・女性
- とても素晴らしい演奏でした。東京から来た甲斐がありました。演奏者の方々も楽しそうに非常によく演奏してくれました。初のオーケストラでしたが最高でした!
20歳代・男性



歌舞伎プレセミナー

平成30年 7月26日(木) 小ホール

- 歌舞伎は一度だけ観ましたが、その時は全然分からなかった。けれど、深い意味があるのを初めて知ってすごいと思いました。
50歳代・女性
- 客席に降りての軽快なトークで目でも耳でも楽しめました!9月の本公演で歌舞伎を初めて観ますが、楽しみです。ありがとうございました。
60歳代・女性
- 動きのひとつひとつに深い意味があることが分かった。知っているのと知らないのとは大違い!今までもったいないことをしてきたと思いました。
50歳代・女性

